

血管撮影装置リニューアルのご紹介

2024年6月より、血管撮影室のリニューアル工事を行い、Canon社製の血管撮影装置 Alphenix BPを導入し、7月より運用開始しました。

この装置は、頭部領域、心臓領域、腹部領域を含む全身領域における血管カテーテル撮影による検査・治療に用います。

当院では血管の診断に加えて、脳卒中や心筋梗塞、下肢動脈閉塞に対して血管内治療も行っています。

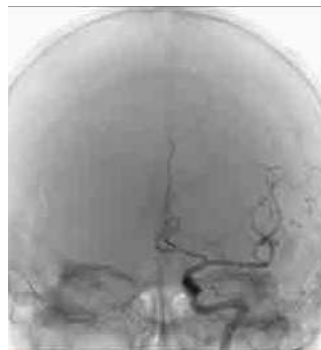
血管撮影装置は、低侵襲な治療法であるカテーテル治療にかかせない装置です。脚の付け根や腕の血管からカテーテルを挿入して造影剤を注入し、エックス線を使用し血管を描出できます。血管や血流の状態を見られるほか、詰まりや細くなっている血管を広げる治療や、頭部血管病変などの治療ができます。

今回リニューアル導入した装置は、以前より画質や操作性が向上し、早急な診断・治療に繋がっています。また放射線の被ばくも低減し、より体に負担の少ない治療が提供できるようになりました。

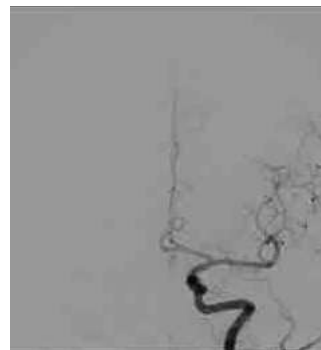
これからも常に万全の準備をして、地域の皆様に安心していただけるよう取り組んで参ります。



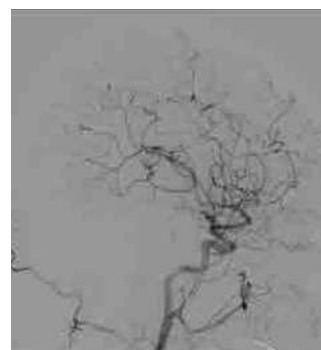
心臓冠動脈



脳血管 (正面)



脳血管 (側面)



院内デイケア「夏まつり」を開催しました

認知症ケアチーム
認知症看護認定看護師 牛山 祐子

当院の認知症ケアチームは、医師・看護師・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士・リハビリ療法士など多職種で構成したチームが、さまざまな病気によって入院した認知症を有する患者さんと、その患者さんに関わるスタッフに日々支援を行っています。専門的な治療や検査を受けるための入院は、制約が多く、日常生活は劇的に変化します。特に認知症の人は認知機能の低下により、戸惑い、混乱を招くことが多いです。そのような入院生活の中で、季節を感じながら楽しむことで脳の活性化につなげ、ベッドから離れる時間を確保し、職員とともに楽しむ時間を過ごしてほしいと思い、お花見や野菜の苗植え、夏まつり、クリスマスコンサートなど様々な季節のイベントを行っています。



今年は、7月4日に「夏まつり」を開催しました。お面やヨーヨー釣り、金魚すくい、バルーンアートの露店と打ち上げ花火のプロジェクションマッピングなど大人が楽しめる夏まつり会場をチームメンバーで用意しました。当日は、入院患者さん50名以上と病院職員が来場し盛況でした。おかめやひよっとこのお面が人気で、ヨーヨー釣りや金魚すくいでは、患者さんとスタッフが童心にかえって楽しむ姿が見られました。スクリーンには迫力のある音とともに色とりどりの花火が大輪の花を咲かせ、「た～まや～」と患者さんの掛け声も聞こえてきました。

会場内は患者さんやスタッフの笑顔があふれ、笑い声が響きわたり、夏の季節を感じながら一緒に楽しむことができました。次回は、病院祭でジャズ喫茶を予定しています。



看護師長 成田 賢栄

入院サポートセンターは、入院が決まった患者さんへ必要なお説明をさせていただき安心して入院生活を送っていただくとともに、医療・看護にとって必要な情報を早期にお聞きし、関係する職員で共有していくことで、患者さんにより質の高いケアを提供するためにあります。

担当する職員は看護師6名、医療事務8名、看護師長1名の合計15名です。また、本年7月8日より従来の1階から2階のエレベーターホールの横に移転いたしました。これは、患者さん一人ひとりに寄り添って対応させていただき、お待ちいただく時間を少しでもくつろいで過ごしていただくことを目的としております。かかりつけの患者さんには、当面の間ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。



入院サポートセンター看護師と松村地域連携室長



入院サポートセンター